

令和3年6月25日

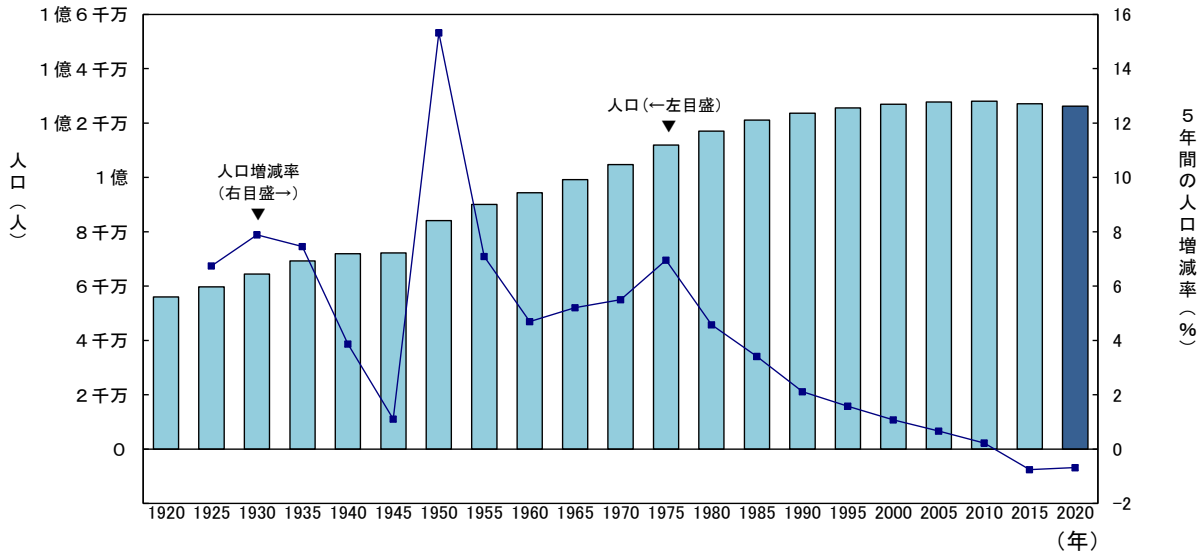
# 令和2年国勢調査 人口速報集計 結果の要約

## I 全国の人口

我が国の人口は1億2622万7千人  
2015年に引き続き人口減少

- 2020年（令和2年）10月1日現在の我が国の人口は1億2622万7千人
- 2015年に比べ、人口は86万8千人減少（0.7%減）と引き続き人口減少

図I-1 人口及び人口増減率の推移（1920年～2020年）



表I-1 人口の推移（1920年～2020年）

年次	人口 (人)	5年間の人口増減		年平均人口増減率 (%)	年次	人口 (人)	5年間の人口増減		年平均人口増減率 (%)
		増減数 (人)	増減率 (%)				増減数 (人)	増減率 (%)	
1920年（大正9年）	55,963,053	—	—	—	1970年（昭和45年）	104,665,171	5,456,034	5.5	1.08
1925年（14年）	59,736,822	3,773,769	6.7	1.31	1975年（50年）	111,939,643	7,274,472	7.0	1.35
1930年（昭和5年）	64,450,005	4,713,183	7.9	1.53	1980年（55年）	117,060,396	5,120,753	4.6	0.90
1935年（10年）	69,254,148	4,804,143	7.5	1.45	1985年（60年）	121,048,923	3,988,527	3.4	0.67
1940年（15年）	71,932,987	2,678,839	3.9	0.76	1990年（平成2年）	123,611,167	2,562,244	2.1	0.42
1945年（20年）	72,147,291	779,765	1.1	0.22	1995年（7年）	125,570,246	1,959,079	1.6	0.31
1950年（25年）	84,114,574	11,052,346	15.3	2.89	2000年（12年）	126,925,843	1,355,597	1.1	0.21
1955年（30年）	90,076,594	5,962,020	7.1	1.38	2005年（17年）	127,767,994	842,151	0.7	0.13
1960年（35年）	94,301,623	4,225,029	4.7	0.92	2010年（22年）	128,057,352	289,358	0.2	0.05
1965年（40年）	99,209,137	4,907,514	5.2	1.02	2015年（27年）	127,094,745	-962,607	-0.8	-0.15
					2020年（令和2年）	126,226,568	-868,177	-0.7	-0.14

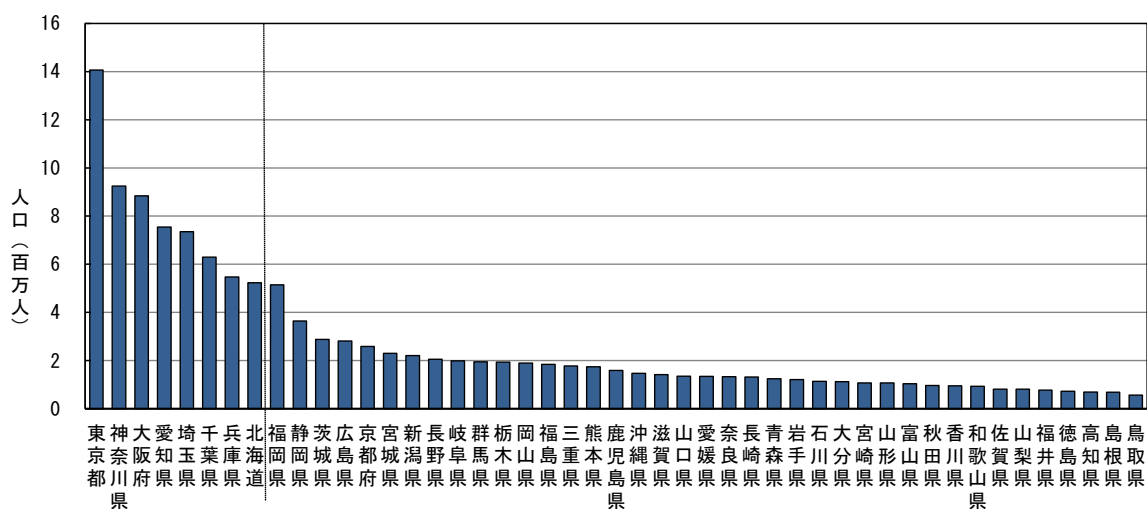
（注）1945年は人口調査結果による。沖縄県は含まない。  
1940年及び1945年の人口は、現在の調査の対象に合わせて補正している。

## II 都道府県の人口

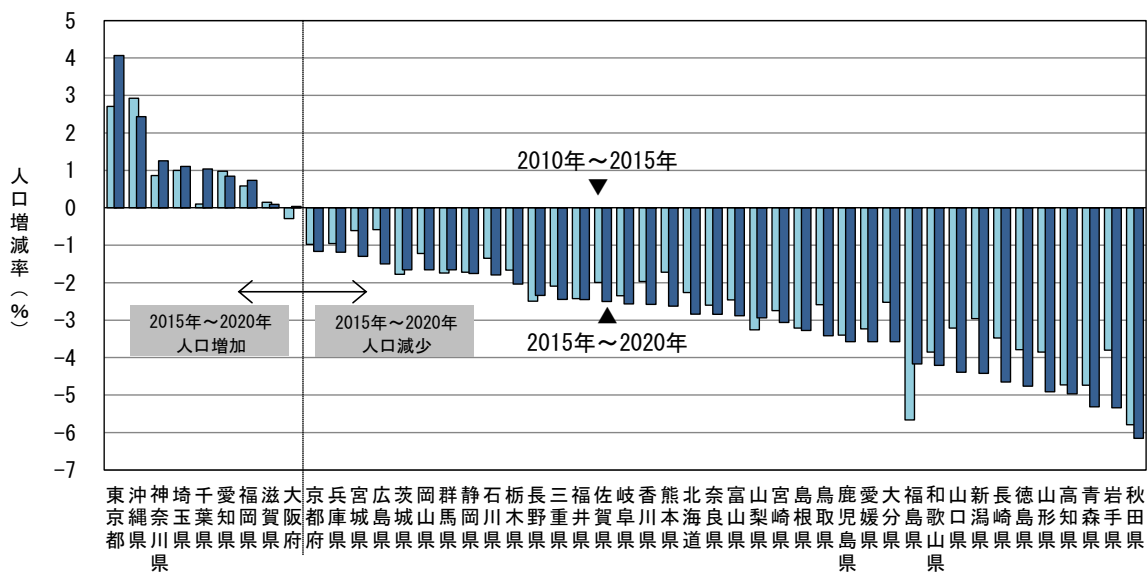
東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）で、全国の約3割を占める

- 人口が最も多いのは東京都（1406万5千人）、東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）の人口は3693万9千人で、全国の約3割（29.3%）を占める。
- 人口上位8都道府県（6402万6千人）で全国の5割以上（50.7%）を占める。
- 東京都、神奈川県、埼玉県など9都道府県で人口増加、増加率が最も高いのは東京都（4.1%）、次いで沖縄県（2.4%）、神奈川県（1.3%）など。

図Ⅱ－1 都道府県別人口（2020年）



図Ⅱ－2 都道府県別人口増減率（2010年～2015年，2015年～2020年）

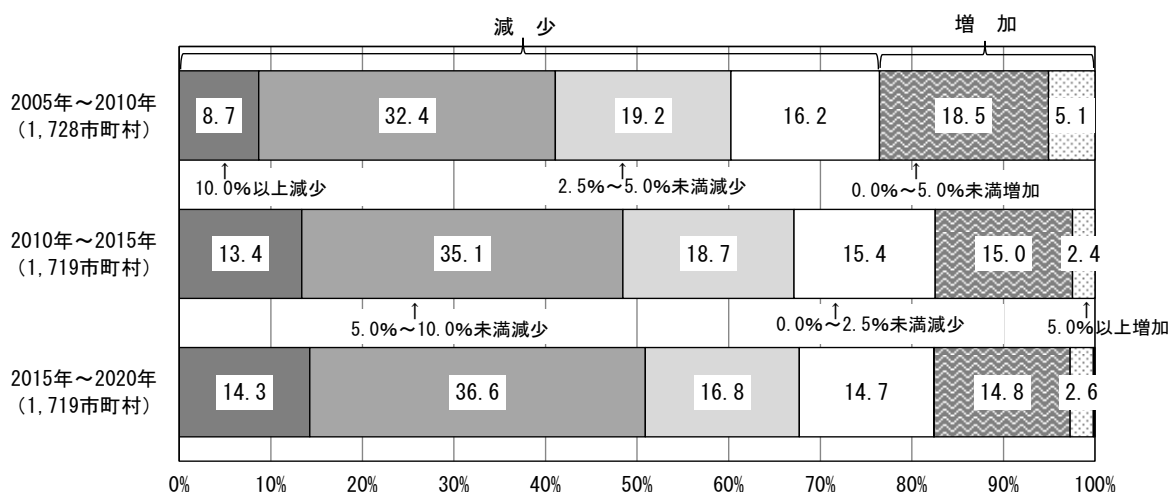


### Ⅲ 市町村の人口

全国 1,719 市町村のうち、1,416 市町村（82.4%）で人口が減少

- 人口が減少したのは1,416 市町村で、全体の 82.4%を占め、特に 5%以上人口が減少した市町村は 50.9%と半数を超える。
- 人口増加数が最も大きいのは東京都特別区部（47 万 2 千人）、次いで福岡県福岡市（7 万 5 千人）、神奈川県川崎市（6 万 4 千人）など。
- 人口減少数が最も大きいのは福岡県北九州市（2 万 2 千人）、次いで新潟県新潟市（2 万人）、長崎県長崎市（2 万人）など。

図Ⅲ－1 人口増減率階級別市町村数の割合（2005 年～2020 年）



注) 東京都特別区部は1市として計算

表Ⅲ－1 人口増減数の大きい市町村の人口及び人口増減数（2015 年～2020 年）

順位	人口増加数の大きい市町村		人口減少数の大きい市町村			
	人口(人) 2020年 (令和2年)	増加数(人) 2015年～2020年 (平成27年～令和2年)	人口(人) 2020年 (令和2年)	減少数(人) 2015年～2020年 (平成27年～令和2年)		
1	特別区部 (東京都)	9,744,534	471,794	北九州市 (福岡県)	939,622	-21,664
2	福岡市 (福岡県)	1,613,361	74,680	新潟市 (新潟県)	789,715	-20,442
3	川崎市 (神奈川県)	1,539,081	63,868	長崎市 (長崎県)	409,305	-20,203
4	大阪市 (大阪府)	2,754,742	63,557	横須賀市 (神奈川県)	388,504	-18,082
5	さいたま市 (埼玉県)	1,324,591	60,612	いわき市 (福島県)	333,202	-17,035
6	横浜市 (神奈川県)	3,778,318	53,474	函館市 (北海道)	251,271	-14,708
7	名古屋市 (愛知県)	2,333,406	37,768	呉市 (広島県)	214,717	-13,835
8	流山市 (千葉県)	199,960	25,587	下関市 (山口県)	255,199	-13,318
9	札幌市 (北海道)	1,975,065	22,709	堺市 (大阪府)	826,447	-12,863
10	船橋市 (千葉県)	642,972	20,082	青森市 (青森県)	275,340	-12,308
11	川口市 (埼玉県)	594,461	16,349	佐世保市 (長崎県)	243,387	-12,052
12	市川市 (千葉県)	496,943	15,211	福島市 (福島県)	282,802	-11,445
13	仙台市 (宮城県)	1,097,196	15,037	静岡市 (静岡県)	693,759	-11,230
14	つくば市 (茨城県)	241,785	14,822	小樽市 (北海道)	111,422	-10,502
15	松戸市 (千葉県)	498,293	14,813	日立市 (茨城県)	174,635	-10,419
16	調布市 (東京都)	242,721	13,660	高知市 (高知県)	326,814	-10,376
17	藤沢市 (神奈川県)	437,155	13,261	京都市 (京都府)	1,464,890	-10,293
18	柏市 (千葉県)	426,552	12,598	神戸市 (兵庫県)	1,527,022	-10,250
19	吹田市 (大阪府)	385,787	11,319	旭川市 (北海道)	329,513	-10,092
20	立川市 (東京都)	187,089	10,794	一関市 (岩手県)	111,970	-9,613

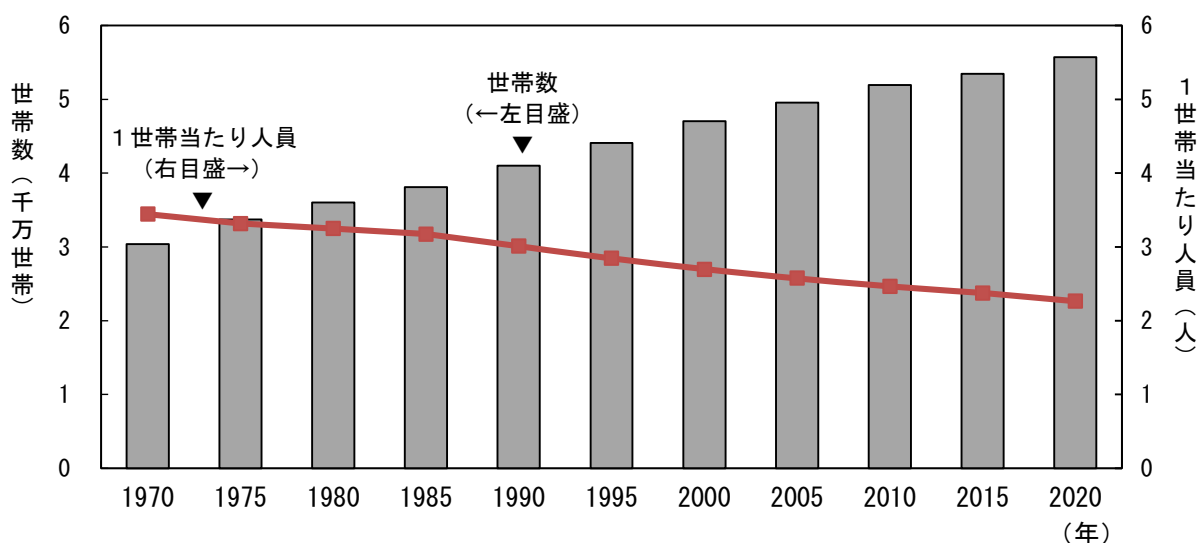
## IV 世帯

我が国の世帯数は 5572 万世帯

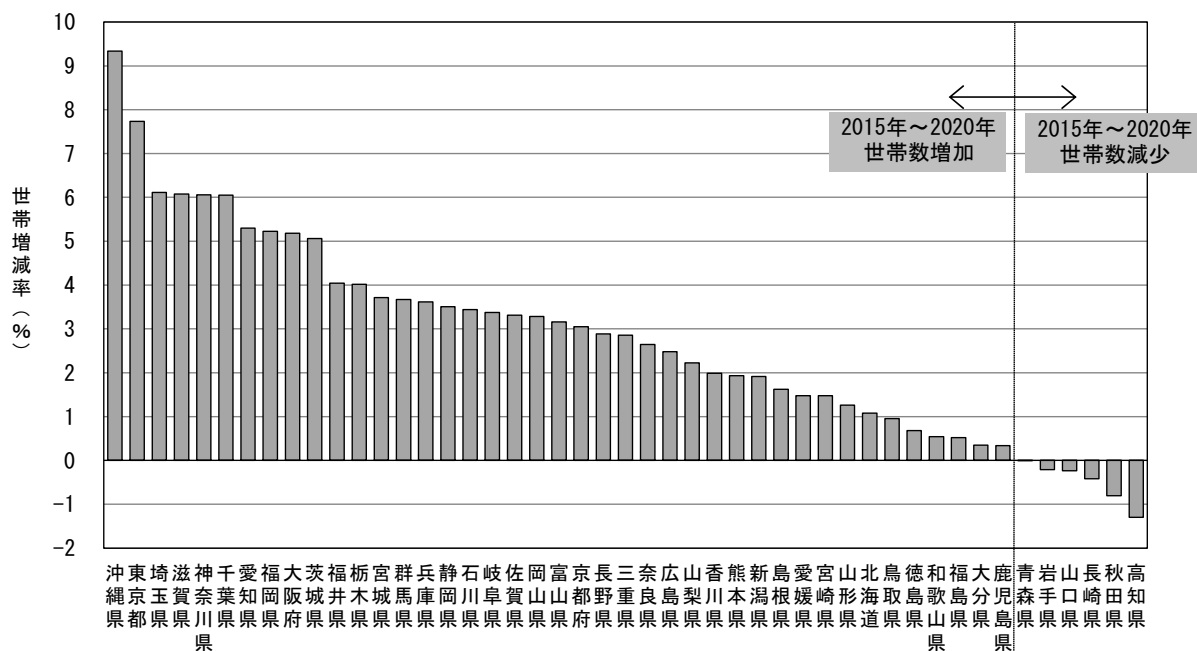
1 世帯当たり人員は 2.27 人で引き続き減少

- 世帯数は 5572 万世帯，2015 年に比べ，227 万 1 千世帯増加（4.2%増）
- 世帯増加率は沖縄県が 9.3%と最も高く，41 都道府県で世帯数が増加
- 1 世帯当たり人員は 2.27 人で引き続き減少，全ての都道府県で減少

図IV－1 世帯数及び1世帯当たり人員の推移（1970年～2020年）



図IV－2 都道府県別世帯増減率（2015年～2020年）



問合せ先  
 総務省統計局統計調査部  
 国勢統計課審査発表係  
 (TEL) 03-5273-1156 (直通)  
 (Eメール) c-shinsa@soumu.go.jp